

サステナビリティマネジメント

セブン-イレブンの取り組むべき「5つの重点課題」

2015年に「持続可能な開発のための2030アジェンダ／SDGs」が国連で採択されるなど、サステナビリティに関する課題解決に向けて企業にも取り組みが求められています。

セブン-イレブンは、お客様やお取引先様、株主様、地域社会、加盟店様、従業員様を含めたすべてのステークホルダーとの対話を通じ、変化し続ける社会の期待・要請を受け止め、対応を図ります。セブン&アイ・ホールディングスが特定する「5つの重点課題」に基づき、さまざまな取り組みを通してSDGs達成に貢献してまいります。

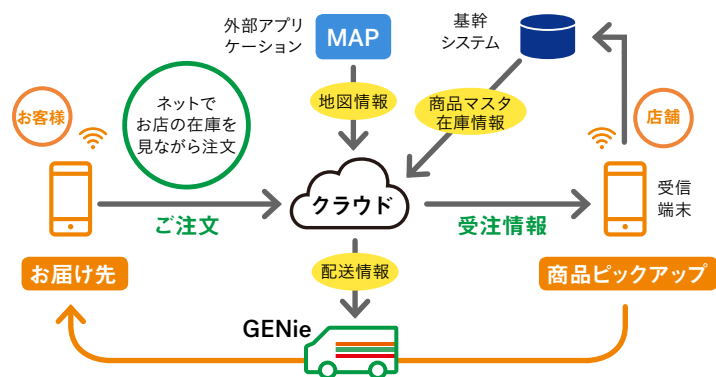
重点課題の特定 www.7andi.com/csr/theme/theme.html

重点課題	主な取り組み・サービス	対応するSDGs目標
1 高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供	- お届けサービス「セブンらくらくお届け便」 - 移動販売サービス「セブンあんしんお届け便」 - 地域における見守り協定の締結 - セブン銀行ATM(海外送金・多言語対応) - 行政証明書の交付サービス(マルチコピー機)	  
2 商品や店舗を通じた安全・安心の提供	- 保存料・合成着色料不使用 - トランス脂肪酸使用低減 - 鮮度を保つ「コールドチェーン(低温物流網)」 - 生産・流通履歴管理システム - お取引先様への食物アレルギー勉強会開催	    
3 商品、原材料、エネルギーのムダのない利用	- 太陽光発電パネルの設置促進 - 水素ステーション併設店舗の展開 - 環境配慮型車両への切り替え(商品配送車、店舗経営相談員の乗用車) - 店舗における照明のLED化	    
4 社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援	「セブンなないろ保育園」の開園 - シニア向け「お仕事説明会」の開催 - 小・中学生の職場体験・出前授業の実施 「品川スチューデント・シティ」への協賛	    
5 お客様、お取引先を巻き込んだエシカル[*]な社会づくりと資源の持続可能性向上	- セブン-イレブン記念財団との協働 - 小型ペットボトル回収機の設置 - 環境に配慮した包装パック - お取引先様 CSR 監査	        

^{*}1 エシカル:「倫理的」「道徳的」という意味。近年では、環境保全や社会貢献という意味が強くなっている。

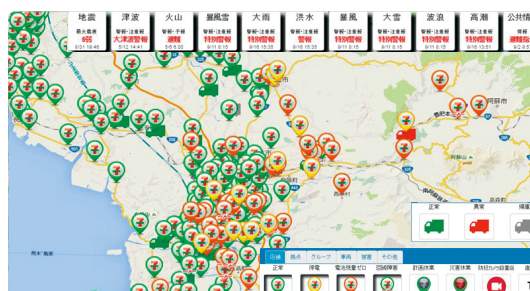
Topics

ネットコンビニ (重点課題 1)



2017年10月より北海道の一部地区で「ネットコンビニ」の実証実験を進めています。これは、スマートフォンでセブン-イレブンの店頭にある商品をご注文いただき、最短2時間でお届けするサービスで、近くに店舗がない、時間が取れないなど、お買物に不便を感じているお客様にご利用いただいています。実証実験の結果を検証し、対応を検討していきます。

災害時の対応 (重点課題 2)



インターネットの地図上で、地震・津波・洪水などの災害状況や道路・店舗の状況などを精度高く、自動で把握できる「セブンVIEW」を活用しています。また、災害時には店舗のWi-Fiサービス「セブンスポット」を特別開放します。会員登録せずにスムーズに安否確認や災害情報の取得が可能です。



セブン-イレブンは「災害対策基本法」に基づく指定公共機関に指定されており、災害発生時には空輸や陸送などで速やかな緊急物資支援を実施しています。

食品ロスへの対応と社会福祉への貢献 (重点課題 2 3 5)



横浜市、横浜市社会福祉協議会と協定を締結

改装や閉店に伴って在庫となった商品を寄贈する取り組みを神奈川県横浜市、横浜市社会福祉協議会と協働して行っています。横浜市社会福祉協議会は寄贈された加工食品や雑貨を子ども・高齢者・生活困窮者などの支援を行っている団体・施設に配分し、高齢者や障がい者への配食活動やこども食堂などの支え合い活動にご活用いただいています。また、セブン-イレブンは2012年に横浜市と地域活性化包括連携協定を締結しており、地域に根差した社会福祉貢献活動に取り組んでいます。

Topics

リユース・リサイクルの推進（重点課題 3）



配送車両には、地球環境にやさしいハイブリッド・EV・水素などの燃料電池トラックを導入し、CO₂排出量の削減を目指しています。



東京都大田区、愛知県刈谷市、宮城県仙台市に水素ステーション併設店舗を開業。クリーン・エネルギーの提供に貢献しています。



愛媛県と協働し、店舗で使用済みの食用油や弁当などの製造で使用した食用油をバイオディーゼル燃料の原料として利用しています。

CO₂排出量削減・環境に配慮した商品開発（重点課題 3 5）



オリジナルの「サラダカップ容器」は「環境配慮型PET（リサイクルPETやバイオマスPET）」を配合した容器を使用しています。



おにぎりのパッケージ印刷には、国産の米ぬか（非食品部分）から抽出した米ぬか油を原料とする「ライスインキ」を使用。また、サンドイッチのパッケージや、オリジナルパンのパッケージのフィルム・インキにも、環境にやさしい植物由来の原材料を使用しています。



資源の回収（重点課題 3 5）



地域におけるリサイクル活動を推進し、資源を有効に活用するため、小型ペットボトル回収機を東京都、埼玉県の300店舗に設置しています。



教育事業（重点課題 4）



東京都品川区で小学5年生対象の「品川スチューデント・シティ」に協賛・出店し、児童が経済について学ぶ教育事業に協力しています。

環境方針

1. 事業活動に対する責任

私たちは事業活動の中で、環境保護、ロス削減、資源の有効利用・再資源化、省エネルギー、廃棄物の削減、環境汚染の予防につとめ、企業の責任を果たします。

2. お客さまとの協力と情報公開

私たちはお客さまの声に耳を傾け、お客さまと共に環境保護につとめ、その活動の結果を文書化し、広くお客さまや社員に情報公開します。

3. 地域社会との協力・社会貢献

私たちは地域とともに環境について考え、環境分野の社会貢献活動を継続的にを行い、企業市民としての役割を果たします。

4. 責任と自覚

私たちは、この環境方針にもとづき、企業や社会の中でそれぞれの立場で環境問題について考え、自分の役割を自覚して行動するようつとめます。

5. 環境目標の設定と見直し

私たちはこうした取り組みが年ごとに改善されるようにつとめ、環境に関連する法規制や私たちが同意した要求事項を遵守し、企業活動の分野ごとに自主的目標を定め、それを年ごとに見直し継続的に改善します。

2016年 5月 29日
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
代表取締役社長 古屋 一樹



発行月 2018年10月
発行者 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
企業行動推進室
企画・制作 株式会社エッジ・インターナショナル
Printed in Japan

会社概要



名称	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
本社所在地	〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8
代表取締役社長	古屋 一樹
設立	1973年11月20日
資本金	172億円
従業員数	8,886人(2018年2月末時点)
チェーン全店 売上高(国内)	4兆6,780億83百万円 (2018年2月期)

本冊子の感想をお寄せください!



アンケートフォーム



ws.formzu.net/sfgen/
S34826627/